

学校自己点検・評価

令和 6 年度

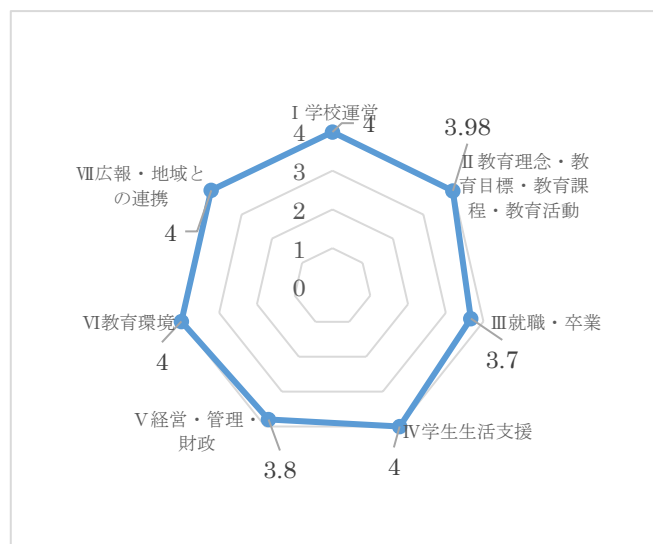
本校では、学校自己点検・評価を行い、学生に質の高い教育が提供できるように努めています。

評価方法

評価内容の 7 領域 31 項目からなる内容を各領域 4 点満点として評価します。

<評価項目と評価点>

評価領域	評価点
I. 学校運営	4
II. 教育理念・目標・課程・活動	3.98
III. 入学・卒業・就職	3.7
IV. 学生生活支援	4
V. 経営・管理・財政	3.8
VI. 教育環境	4
VII. 広報・地域との連携	4



<評価結果>

令和 6 年度の評価結果について、評価点が 4 点に満たない 3 領域を中心に評価の分析と課題を述べていきたい。

「II. 教育理念・目標・課程・活動」に関して、教員の教育実践力を高める取り組みとして、新カリキュラムで新しく設置された科目、特に地域・在宅看護論や看護実践演習は他の教員の授業参観を実施し、教員からの意見を講義評価の一助とした。しかし、授業参観としての位置づけが曖昧であったため、教員間で評価の分散があった。「授業参観・公開授業」の教員間で統一を図り、教育実践力向上につなげたい。

「III. 入学・卒業・就職」が 3.7 の要因は、看護師国家試験の合格率が 97.5%であったことである。国家試験対策として、1 年次より学力の確認と個別学習指導の実施、また、3 年次からは定期試験後の成績の分析と個別指導等を実施してきた。今後は学生の特性に合わせての指導を早期より強化したい。

+ 「V. 経営・管理・財政」では、災害などの非常時の危機管理体制の整備において、学生用災害時の食糧・飲料水の準備を促していたが、確認が不十分であり、全生徒が備蓄を行っていなかった。今後は、学校管理として学生・職員の食糧・飲料水の備蓄を行うこととする。

今回の課題の改善を図り、職員一同で学生の教育の質の向上に努めてまいります。